



お知らせとお願い

令和7年度もあと2カ月となりました。

時々の訪問ですが、会うたびにおしゃべりの内容が広くなり、最近では話題についていけなくなってきました。また、友達同士で自分の意見や考えを主張する場面もあり、成長を感じています。

さて、さんこう児童クラブがある佐賀キャンパスでは、次代の人材養成のための環境整備として、キャンパス内に6階建ての校舎が建築されます。そのため、これまで毎日運動を楽しんだグラウンドが駐車場として代用されるためしばらくは遊べなくなります。大学側の配慮で、授業の空き時間や夏休み等には体育館を借用できるようになっていますが、子ども達にはちょっと物足りなさを与えてしまうことと思います。保護者の皆様にも、お迎えの際に混雑や不便さを与えてしまうと思いますので、困ったことがありましたら、児童クラブのスタッフの方へご相談して下さい。

1年程度はご不自由をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

2月の目標

「友達の思いを考えよう！」

友達の気持ちはどうかな？

考えて言動ができるようにしよう。

遊ぶ時のルールを決める時にはみんなが楽しめるようなものを選ぶ。

汚い言葉を言われた人や聞いた人はどう思うか、叩く蹴る等の行為はする側は冗談のつもりでもエスカレートして喧嘩になることも。最初から気を付けられるようにしたいです。

★空が綺麗だね★

戸外遊び。日没前はいつも、違った空を見ることができます。この日は夕日が隠れた後の空が真っ赤に染まり、絵具で塗ったかのように幻想的でした。児童に「見て見て！空が綺麗だよ！」と声を掛けてみると、「本当だ！美しいねえ。」という言葉が(*^-^*)この子たちは、これを見て、美しいという言葉を使うんだなあと、深く感動しました。児童の感性も言葉の表現もその子それぞれに持ち合わせていて、感受性の豊かさや表現の個性を感じられます。このような時間を児童と共有できることもとても嬉しく思います。

この辺が(空と一緒に)綺麗に撮れるんじゃない??



★ゴム弾に挑戦！★

友達にやり方を教えてもらい、何度も繰り返していました★覚えた子が他の子に教え、それぞれにその子がわかりやすいように表現の工夫をしていて頼もしい一面も見られました(*^-^*)室内の一角でできるので、自分たちで飛び方を発案したりして今後もぜひやっていけたらと思います♪



★室内遊び★

友達と一緒に取り組むとき。アイロンビーズ、ラキュー、工作等、一見、一緒にしていても自分の作りたいもののアイデアをはっきりとさせて表現しています！友達のいいところを取り入れることもあり、影響し合っています♡



2月の学童児童数

| | 在籍者数 | 休所者数 | 利用者数 | そのうち新規入所者数 | 1月末退所者数 |
|-----|------|------|------|------------|---------|
| 1年生 | 12 | 0 | 12 | 0 | 0 |
| 2年生 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 3年生 | 13 | 0 | 13 | 0 | 0 |
| 計 | 27 | 0 | 27 | 0 | 0 |

「子どもと一緒に感染症対策」

西九州大学看護学部看護学科 川島睦子

感染症といえば、記憶に新しいのは新型コロナウイルス感染症かと思います。この新しい感染症が猛威を振るった 2020 年から 2021 年度は、季節性インフルエンザの発症が減少し、定点調査において、流行開始の指標である 1.00 人/週を超えた週はなかった（つまり流行するほどの感染者はいなかった）と報告されています。いろいろ検討されましたが、マスク着用と手洗いの徹底が一つの要因ではないかと考えられています。新型コロナウイルス感染症への対策が他の感染症にも副次的な効果をもたらしたといえるでしょう。

ここで「感染成立の 3 要素」について少し述べさせていただきます。菌やウイルスなどの「病原体」が見つかったというだけでは感染とはいえません。「宿主」（ヒトなど）があり、「病原体」が「感染経路」を経て定着・侵入することから感染は始まります。「病原体」「感染経路」「宿主」により感染が成立します。言い換えれば、3 要素のどこかを強化したり、弱めたり、遮断することで感染を成立させないことができるのです。

「感染経路」を遮断する最も有効な方法として手洗いがあります。子どもに限らず大人でも、無意識のうちに口元や目元に触れてしまうのは、接触感染の原因になります。そこで、病原体に触れたかもしれない外出後、ご飯を食べる前、トイレの後などの手洗いをお勧めします。とはいえ、外出先から帰っての手洗いを習慣化させるだけで手一杯、という保護者の方には、手洗いできたらハイタッチ（こちらの手洗い済みで）をする、カレンダーに◎やシールを付けるなど子どもに遊び感覚で実施できることが続けられるコツかもしれません。保育園に出向いて「手洗いダンス」の映像を見ながら実施した時は、楽しそうにできていました。マスクも感染経路の遮断には効果的ですが、表情が見えないなどのデメリットもあるため、咳やくしゃみをしているとき、または感染している人が近くにいるときだけ使用してはいかがでしょう。自宅に感染した人がいるときは隔離が理想的ですが、子どもの場合は難しいため、家の中でのゾーニングを行います。帰宅して直ぐに手洗いや着替えができるコーナーを作り、一方向から清潔な空間に入る（病原菌を持ち込まない）工夫と、隔離するときは、部屋の前にコーナーを作り、擦式アルコールによる手指衛生、マスクの着脱ができるように準備する、きょうだいの出入りはできるだけ我慢するが、寂しくないように大人（保護者の方）が感染対策をして接すること、接する人を決めることも必要な場合があります。子どもと楽しみながら一緒にできる感染症対策を、ぜひご検討ください。なお、抵抗力強化（免疫獲得）のワクチン接種も効果大です。

【参考文献】 [新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応 | 厚生労働省](#)